

- 問1 第二次世界大戦後の日本で行われた農地改革の目的とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 食糧管理制度を廃止することで米の流通を自由化し、農家が自由に価格を決めて販売できるようにした。 | 2. 農業の機械化を強力に進めるため、小規模な自作農を整理して大規模な国営農場を建設した。 | 3. 寄生地主の権限を強めることで、農作物の生産量を増やして食糧不足を解消しようとした。 | 4. 地主から買い上げた土地を小作農に売り渡すことで、農村の民主化と経済的平等を促進した。 |
|--|---|--|---|
- 問2 2015年から2016年にかけての統計において、東京都は転入者数が転出者数を7万人以上も上回る大幅なプラスとなっている一方で、北海道や広島県、宮城県などでは転出者数が転入者数を上回る状況が見られます。このように東京圏への一極集中が加速している社会的な背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 東京圏は年平均気温が安定しており、良好な自然環境での生活を求めた移住者が急増しているため。 | 2. 東京圏に企業数や大学数が集中しており、進学や就職を目的とした若年層の流入が促進されているため。 | 3. 東京圏の出生率が他県に比べて極めて高く、自然増加による人口増加が顕著であるため。 | 4. 東京圏は広大な耕地面積を有しており、農業に従事することを目的とした若年層の流入が活発であるため。 |
|--|--|---|---|
- 問3 16世紀にポルトガルやスペインがアジアへ進出し、イエズス会の宣教師が日本でキリスト教を広めた当時の状況を説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. プロテスタントの教義を日本に広めることで、カトリック国であるスペインの進出を阻止しようとした | 2. 朱印船貿易によって東南アジアへ進出した日本人のために、各地に教会を建設することが主な目的であった | 3. 幕府による鎖国の徹底を支援するために、ヨーロッパの最新の軍事技術を伝える活動が行われた | 4. 宗教改革の影響でカトリックの勢力が衰退したため、新天地での布教を目的として活動が行われた |
|---|---|--|---|
- 問4 アフリカ大陸を流れるナイル川と、日本の信濃川の「河口からの距離」と「標高」の関係を比較したとき、日本の河川に見られる傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. ナイル川は信濃川に比べて、短い距離の間で標高が急激に変化している。 | 2. 信濃川はナイル川に比べて、河口から上流までの距離が長く、傾斜が緩やかである。 | 3. 信濃川とナイル川を比較すると、どちらも標高の変化に大きな差は見られない。 | 4. 信濃川はナイル川に比べて、短い距離の間で標高が急激に変化している。 |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
- 問5 7世紀後半、百済の滅亡と白村江の戦いでの敗北という対外的な危機を受け、唐・新羅連合軍による日本への侵攻に備えて、九州北部の沿岸などの要所に配置された兵士を何と呼びますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 武士 | 2. 防人 | 3. 健児 | 4. 衛士 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 663年の白村江の戦いで敗れた後、大和政権は大宰府を守るためにその周辺の防衛を強化しました。この時、大宰府の北側に築かれた、巨大な土塁と堀を持つ防衛施設を何と呼びますか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-------------|-----------------|----------------|
| 1. 鴻臚館 (こうろかん) | 2. 水城 (みづき) | 3. 吉野ヶ里 (よしのがり) | 4. 多賀城 (たがじょう) |
|----------------|-------------|-----------------|----------------|
- 問7 1990年代半ばのインドでは、輸出の上位をダイヤモンドや繊維製品などの軽工業品が占めていました。しかし、2014年頃には輸出総額が1995年比で約10倍にまで急増し、輸出品目の内訳も大きく変化しています。この時期に、新たに輸出の上位を占めるようになった工業製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-----------------|----------------------|---------------|
| 1. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源 | 2. 木材やパルプなどの林産物 | 3. 石油製品や自動車などの重化学工業品 | 4. 米や小麦などの農産物 |
|------------------|-----------------|----------------------|---------------|
- 問8 地方自治体の歳入における「地方債」の役割と性質についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地方自治体間の財源の不均衡を調整するために、国から無償で提供される財源である。 | 2. 特定の公共事業を行うために、国から使い道を限定して支給される補助金である。 | 3. 道路や学校の建設といった大きな支出や財源不足を補うための借入れであり、将来の世代も負担を分担する性質を持つ。 | 4. 地方自治体が自ら住民から徴収する税金であり、その使い道は自治体が自由に決めることができる。 |
|--|--|---|--|
- 問9 日本国憲法第76条には、司法権の独立を保障するための規定があります。この条文の中で、すべての裁判官が職権を行うにあたって従うべきものと、拘束されるものとして示されている要素の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 内閣の指示に従い、憲法および法律にのみ拘束される | 2. 自らの良心に従い、憲法と時の政権の方針に拘束される | 3. 国民の世論に従い、法律と条令にのみ拘束される | 4. 自らの良心に従い、憲法および法律にのみ拘束される |
|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|-----------------------------|
- 問10 日本の食料供給における「輸入相手国の分散」の考え方として、トウモロコシの事例をもとに説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アメリカ国内でのバイオエタノール利用が拡大したことを受け、日本はトウモロコシの輸入そのものをやめ、小麦の輸入に切り替えた。 | 2. 国内の食料自給率を100%にするための準備段階として、アメリカ一国に絞っていた輸入先をあえて複数の国に広げ、全体の輸入量を減らした。 | 3. 2004年時点ではアメリカからの輸入が9割を超えていたが、不作時の供給不安を避けるため、以降は南米諸国などからも輸入を行うようになった。 | 4. 新興国での食料需要の低下に合わせ、日本はより安価なトウモロコシを求めて、輸入相手国をアメリカからアフリカ諸国へと完全に移転させた。 |
|--|---|---|--|
- 問11 1980年代後半から2020年代前半にかけての日本の主な税収の推移において、消費税が示した特徴的な動きについて述べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 企業の業績によって納税額が決定するため、法人税の推移とほぼ一致しており、好景気の時期にのみ突出して税収が増加している。 | 2. バブル経済の崩壊やリーマンショックといった景気後退の影響を強く受け、所得税と同様に1990年代以降、右肩下がりに減少している。 | 3. 税率の引き上げが行われるたびに税収が段階的に増加しており、景気変動による増減が激しい所得税や法人税と比較して、安定的に推移している。 | 4. 1989年の導入以降、一度も税収が減少したことはなく、景気が悪化する局面では所得税を補うために自動的に税収が増える仕組みとなっている。 |
|--|--|---|--|
- 問12 世界地図において北緯40度の緯線上を、朝鮮半島から東に向かって進んだ場合、中国の黄河を通過した次に現れる、日本の東北地方を南北に流れる一級河川の名前として正しいものを次の中から選びなさい。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 石狩川 | 2. 北上川 | 3. 信濃川 | 4. 筑後川 |
|--------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地主から買い上げた土地を小作農に売り渡すことで、農村の民主化と経済的平等を促進した。	戦前の農村では、少数の地主が土地を所有し、高い小作料をとって小作農を支配する構造がありました。この不平等な関係が軍国主義の支えの一つになったと考えられたため、GHQの指令のもとで改革が行われました。結果として、農民の多くが自作農となり、社会の安定と民主化に大きく寄与しました。
問2	答え 2 東京圏に企業数や大学数が集中しており、進学や就職を目的とした若年層の流入が促進されているため。	日本の人口移動は、出生や死亡による「自然動態」よりも、就職や進学といった理由で移動する「社会動態」の影響を強く受けます。東京都などの東京圏では、企業数や大学数が非常に多く、利便性や雇用の選択肢を求める若年層が地方から流入し続けています。その結果、東京都の転入超過数は他の道府県を圧倒しており、東京一極集中が社会問題となっています。
問3	答え 4 宗教改革の影響でカトリックの勢力が衰退したため、新天地での布教を目的として活動が行われた	イエズス会の活動は、ヨーロッパ本国での「対抗宗教改革（カトリック改革）」の一環として位置づけられます。プロテスタントの台頭によって失われた影響力を、アジアなどの新天地での布教によって補おうとする強い動機がありました。なお、朱印船貿易の制限や鎖国の徹底は、キリスト教が伝来した後の江戸時代初期の出来事であるため、布教の当初の目的とは合致しません。
問4	答え 4 信濃川はナイル川に比べて、短い距離の間で標高が急激に変化している。	広大な大陸を流れるナイル川のような大河川は、長い距離をかけてゆっくりと標高が下がるため傾斜が緩やかです。対して日本の信濃川などは、短い流路の中で一気に山地から海へと流れ落ちるため、断面図を描いた際には急激な傾斜を示すことになります。
問5	答え 2 防人	白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた日本は、国土防衛を強化するために九州北部に「防人」を置きました。主に東国の農民が徴集され、3年間の任期で国境の警備にあたりましたが、交通費や食料が自己負担とされるなど、その生活は非常に苦しいものでした。万葉集には、防人やその家族の悲しみを詠んだ「防人歌」が残されています。
問6	答え 2 水城（みづき）	白村江の戦いでの敗北後、唐・新羅連合軍の侵攻を恐れた朝廷は、九州の防衛を急ぎました。外交・行政の中心地である大宰府を守るため、その北側に「水城」という大規模な堤防（土塁と堀）を築き、さらに周囲の山々には大野城などの朝鮮式山城を建設して、防衛体制を整えました。多賀城は東北地方の拠点であり、鴻臚館は外交使節の宿泊施設です。
問7	答え 3 石油製品や自動車などの重化学工業品	インドでは経済成長に伴い、従来の繊維製品などの軽工業を中心とした輸出構造から、石油製品、自動車、機械類といった重化学工業中心の構造へと大きく変化しました。1995年から2014年の間に輸出総額が約317億ドルから約3,175億ドルへと急増した背景には、こうした工業化の進展と産業構造の高度化があります。
問8	答え 3 道路や学校の建設といった大きな支出や財源不足を補うための借入れであり、将来の世代も負担を分担する性質を持つ。	地方債は、一度に多額の資金を必要とする公共施設の建設などに利用されます。これらの施設は将来の住民も利用するため、地方債の発行によって返済を長期化させることは、世代間での負担の公平性を図るという側面も持っています。一方で、過度な発行は将来の財政を圧迫するリスクがあります。国から交付される地方交付税交付金や国庫支出金とは、返済義務があるという点で大きく異なります。
問9	答え 4 自らの良心に従い、憲法および法律にのみ拘束される	司法権の独立を維持するため、裁判官は他者からの干渉を受けることなく、客観的な法規範である憲法と法律、そして自身の良心のみを判断の基準としなければなりません。これにより、政治的な圧力や一時的な社会情勢に左右されない公正な裁判が担保されています。
問10	答え 3 2004年時点ではアメリカからの輸入が9割を超えていたが、不作時の供給不安を避けるため、以降は南米諸国などからも輸入を行うようになった。	かつての日本のトウモロコシ輸入はアメリカ一国に極めて高く依存していましたが、気象災害による不作や社会情勢の変化といったリスクに備えるため、輸入相手国をブラジルやアルゼンチンなど複数の国に分散させる方針をとっています。これにより、特定の供給元で問題が生じても、他の国から補うことで国内の供給を維持することが可能になります。
問11	答え 3 税率の引き上げが行われるたびに税収が段階的に増加しており、景気変動による増減が激しい所得税や法人税と比較して、安定的に推移している。	過去の統計資料を見ると、所得税や法人税は好景気の時期に税収が伸びる一方で、不況時には大幅に減少するという不安定な動きをしています。これに対し消費税は、3%、5%、8%、10%と税率が改定されるたびに税収の総額が底上げされており、経済状況の変化による変動幅が小さいことが読み取れます。このため、国の財政運営において最も計算が立ちやすい主要な財源となっています。
問12	答え 2 北上川	北緯40度線は、日本の東北地方（秋田県や岩手県）を横断しています。この緯線上をアジア大陸から東へ移動すると、中国の黄河を越えた次に日本列島の北上川と交差します。石狩川は北海道、信濃川は中部地方、筑後川は九州地方を流れる河川であり、北緯40度線とは交差しません。